

# ぼらんていあ

玉城町ボランティアセンターだより

いつでも どこでも だれでも 楽しく ボランティア



## 災害講習会

DIGによる防災訓練を行いました。

(内容は2ページ)

# 防災意識を高めよう！



私たちは、阪神淡路大震災など、実際に発生した災害状況はニュースなどの映像で見ることができません。本当に災害が起きたとき「私たちは何ができるのか」といったことを考え、地域の連携がとれる防災体制や、防災意識を高めようとボランティアセンターでは災害講習会を開催しています。



覚えておいてネ！  
災害用伝言ダイヤル 171

災害地へは電話が掛かりにくくなるため、災害者の自宅電話番号をキーに全国と音声で連絡を取り合う伝言ダイヤルがあります。このダイヤルは自宅の電話、公衆、携帯からでも伝言を登録・再生できます。

玉城町が災害地の場合

伝言を登録

☎171-1-0596-58-災害者の自宅番号  
登録

伝言を再生

☎171-2-0596-58-災害者の自宅番号  
再生

※詳しくは最寄のNTTまたは、インターネットサイトまで

## 平成13年度事業報告

ボランティア事業にたくさんの方の参加がありました。

◆介護教室(2回開催)では7名が介護のノウハウを学びました。

◆ボランティアアスクールは3日間開催され、町内の小・中学生25名が高齢者疑似体験などに参加し、有意義な時間を過ごしました。

◆ボランティアアドバイザー養成講座は23名の受講があり、うち16名は今後、地域のボランティア相談役として活躍していただきます。(昨年度は17名)

◆第2回となったボランティアまつりには、町内外より約600名が来場され、いろいろなイベントを体験し、ボランティアについて学んでいただきました。

◆はっぴいサークルは障害児と健常児の交流を深める場として、年3回交流事業を開催(1回目44名、2回目28名、3回目29名)し、町外で体験教室などに参加して交流を深めました。



3月30日(日)、県防災ボランティアコーディネーター養成協議会議長の山本康史さんを講師にお招きし、町保健福祉会館で災害講習会を開催しました。この日の講習会には町内のボランティアのみなさんや、地元企業で働く方々、そのOBなど総勢50名ほどの参加がありました。

まず、山本さんの阪神淡路大震災などで災害ボランティアとして活躍された体験談や東南海地震に備えた「コミュニケーション(仲間づくり)を学んだ後、DIG(下記参照)と言われる「災害図上訓練」を体験しました。こ

れは災害訓練方法の一つで、地図上で私たちの身に襲い掛かる災害を想像し、その対処方法を考えるというものです。参加者のみなさんは玉城町の地図で、自宅や避難所、役場などにポイントを付け、災害が起こった場合の被害を想定し、日頃から地域でどういった取り組みをすればいいのかを考えることで防災意識を高めました。今後様々な形で災害講習会を開催し、災害時に連携のとれる地域作りをめざします。

### ディグ DIG

とは「Disaster Imagination Game」の頭文字をとって「ディグ」と呼ばれています。身近な地図を使って災害を想像してみる訓練方法で「防災図上訓練」と訳されます。

また、「dig」にもたくさん  
の意味があり「理解する」といった意味からは「防災を理解する」といった解釈もできます。



### 玉城町で活躍している ボランティアさん

現在、町内には、個人で活動されている方や10グループものボランティアのみなさんがみえます。絵本の読み聞かせ、配食サービス、絵手紙など様々な場所で活躍され、総勢256名にもなります。そのうち町内が240名、そして驚くことに町外では16名の方が玉城町でボランティア活動に励んでみえます。自分の住んでいるまちで、私もボランティア活動してみたいという方は、ぜひセンターまでご相談ください。

### 「ふくしのまちづくりをめざして！」 三重ボランティア基金に ご協力ください

- お寄せいただいた寄附金は地域福祉充実のため、ボランティアの育成とその活動に対する援助を行います。
- ★募金は随時受け付けていますのでご協力をお願いします。(募金箱は保健福祉会館に設置してあります)

### 地域のみなさんと一緒に...

## 余暇活用ボランティア相談をはじめました！

4月から学校は完全週5日制になりました。土・日が休みになることにより、子どもたちは地域や家庭で過ごすことのできる時間が増えたのです。その時間を地域のみさんと一緒に過ごし、その中で社会性を高める一つとしてボランティア活動が考えられます。

実際、ボランティア活動は身近なところには存在するのですが、それでも何をすればいいのかわからないというのが現状です。そこでボランティアセンターでは、「余暇活用ボランティア活動プログラム」といった

休日を利用した簡単なボランティア活動へのご相談を始めました。

例えば、高齢者疑似体験(体に加わって高齢者の不自由さを体験)や車椅子体験(車椅子での目の高さを体験)施設訪問(福祉施設などの行事参加、入所者とのコミュニケーション)美化運動(施設の清掃、緑化運動)防災(地域活動)など活動の場はたくさんあります。また、自分たちで考えたプログラムへのアドバイスもいたします。ボランティア活動を体験し、活躍するためにどんどんセンターをご利用ください。

## 開催しています！ (14年度の事業予定)

### 災害講習会

日頃から防災意識を持ち、地域との連携がとれた防災体制を作るために定期的に講習会を開催します。

### 手話中級勉強会

手話の経験のある方を中心に、年10回手話中級勉強会を開催しています。



### 介護教室

介護の原則やコツ、体位変換などの介護方法や、健康のための食生活などの教室を開催します。第1回は、日本赤十字社の方を講師にお招きし講習会をいたします。



### 手話おしゃべり会

毎週木曜日、文化交流やレクリエーションを通じて楽しく手話を学んでいます。

事業に関するお問い合わせはボランティアセンターまでお願いします。

# みなさんもボランティアさんとして一緒に活動しませんか？

# New Group 誕生

## 煎茶光の会

月に1回、町内施設を訪問し、心を込めてお煎茶をいれ、召し上がっていただいています。



代表 松井匡美さん

## 車椅子社交ダンス普及会

簡単な社交ダンスを楽しむことで、車椅子を使用している方などに気軽なリハビリの場を持っていただこうと、月1回施設を訪問しています。

代表 竹内茂子さん



## はな♪はな♪おはなしがい

代表 前川有紀子さん

## はな♪はな♪おはなしがい

現役ママによる  
絵本の読み聞かせ をします!!

場所 \* 玉城町保健福祉会館 研修室

日程 \* 毎月第3回日の火曜日

AM. 10:30~

ちょっぴり早退き...  
お人なま時まで来て下さい。  
おの子も、おの子も、おのしがりおさんや...  
おん立で一揃に楽しみましょ

問合せ先 \* 玉城町社会福祉協議会  
てんわ \* 0596-58-6915

## 絵手紙教室開催!

ひとり暮らしのお年よりの方々に心のこもった絵手紙を書いてみませんか。

日時: 7月27日(土) 午後1時から午後3時

場所: 保健福祉会館 多機能室

講師: 三重大学教育学部講師 清崎 博先生

対象: 興味のある方(小・中学生歓迎!)

定員: 30名(定員を超える場合は抽選)

参加費: 無料

主催: ボランティア「玉城たんぽぽ」

後援: 町社会福祉協議会、町教育委員会

お問い合わせ、お申し込みは、

ボランティアセンターへ

## イエローレシートのご協力、引き続きお願いします。

ジャスコ玉城店様より、イエローレシートの半期集計があり、今回分のレシート総額は625,000円で、その1%に当たる6,250円がセンターへ届きました。今後も毎月11日にジャスコ玉城店でお買い物したレシートはボランティアセンターのボックスへお願いします。



## 手話に挑戦

指文字Part. 4「た行」(図は相手側から見たものです)



## ■ボランティアセンター付近図



## ボランティアに関するお問い合わせ

☎ 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会  
玉城町ボランティアセンター

住所: 〒519-0433 玉城町勝田4876番地1  
玉城町保健福祉会館内  
Tel: 0596-58-6915 Fax: 0596-58-6916